

第70回 全日本空手道連盟系東会 系東流空手道大阪府選手権大会 競技規定

(公財) 全日本空手道連盟競技規定・審判規定 及び大阪府系東会申し合わせ事項によって執り行う

※参加選手が少ない場合は、競技中止あるいは、種目統合することがあります。

※全種目、参加数等によって内容を変更することがあります。*初級は白帯、中級は、初級上級以外の色帯、全国予選(上級)は黒・茶帯(厳守)

※少年及び成年は、全国予選(有段、並びに階級)と段外のいずれかです。令和2年3月現在

・初級白帯(10, 9, 8級)、中級緑帯、紫帯(7, 6, 5, 4級)、全国予選(上級)黒・茶帯(3, 2, 1級)上記記載しております、**級に対し帯の色が違う場合は、赤・青帯か白帯にて対処よろしく願います。**

※全国大会予選は、級・段に関係なく出場可能です

※系東会強化選手は、スーパーシードとしてベスト8からの出場です(初戦敗退の場合は表彰なし)

※赤帯・青帯使用可。全国大会では、必着です

形競技

※形競技は全て 赤・青 フラッグで実施。

※大会中に生じた事故、負傷についての応急処置はしますが、事後の責任は一切負いません。

※参加者は、必ず令和2年度度スポーツ傷害保険に加入しておくこと。

形競技 全国大会予選				
ベスト8まで		準々決勝(8名)	準決勝(4名)	決勝(2名)
幼児 (男女) 『最低1つの形でOK』				
平安二段	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 準々決勝までに演武した形も使用可	自由形 準決勝までに演武した形も使用可	自由形
小学1.2年生 『最低2つの形でOK』				
1回戦は平安二段 2回戦は平安三段 (以後交互に演武する)	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 準々決勝までに演武した形も使用可	自由形 準決勝までに演武した形も使用可	自由形
小学3.4年生 『最低4つの形でOK』				
1回戦は平安三段 2回戦は平安初段 (以後交互に演武する)	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形
小学5.6年生 『最低4つの形でOK』				
1回戦は平安四段 2回戦は平安五段 (以後交互に演武する)	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形
中学生・シニア 『最低4つの形でOK』				
バウサイ大・征遠鎮のいずれか、 以後交互に演武する	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形
少年・一般				
ベスト16まで	ベスト8まで	準々決勝(8名)	準決勝(4名)	決勝(2名)
バウサイ大・征遠鎮のいずれか、以後交互に演武する	松村ローハイ・二十八歩のいずれかを演武する	自由形 ベスト8までに演武した形も使用可	自由形 1度演武した形は使用出来ない	自由形 1度演武した形は使用出来ない

組手競技

※幼児・小学生において、足払い、投げは、禁止です。

※組手の部は、安全具（拳サポーター・メンホー・ボディプロテクター・金的保護カップ）を必ず着用すること（厳守）出場できない場合があります。安全具を着用せずに事故にあっても責任は負いません。

※脛・甲あては全種目着用が望ましいですが、任意といたします。全国大会は、必着です。

※脛あては赤、青の識別はしませんが、甲あては赤、青の識別を致します。必ず試合の赤色、青色識別コーナにあわせて装着のこと。白色は、赤、青どちらでも使用可。

※金的保護カップを着用していないことによる事故が増えています。責任者は選手に対し、必ず着用するよう指導してください。

※大会中に生じた事故、負傷についての応急処置はしますが、事後の責任は一切負いません。

※参加者は、必ず令和2年度スポーツ傷害保険に加入しておくこと。

幼児 全国予選	1分フルタイム、6ポイント差で勝ちとする 終了時同じ得点で、先取のない場合は、判定
小学生・中学生 全国予選	1分フルタイム、6ポイント差で勝ちとする。 終了時同じ得点で、先取のない場合は、判定
少年・一般 全国予選	1分半フルタイム、6ポイント差で勝ちとする 終了時同じ得点で、先取のない場合は、判定

初級・中級・段外の部

形競技

小学生：平安形（連続可）

中学生：平安形（連続可）

少年・一般：準決勝まで平安形（連続可）

決勝戦は全空連指定形および平安形（連続可）

組手競技

上記に同じ